

博士論文審査結果報告書

2024 年 1 月 31 日

神奈川県立保健福祉大学大学院  
保健福祉学研究科長 殿

博士論文審査員

主査 新保 幸男  
副査 谷口 千絵  
副査 田中 和美

博士論文審査及び最終試験の結果について、次のとおり報告します。

申請者氏名	森本 淳子	学籍番号	62120006
論文題目	地域におけるグループを活用した支援方法と当事者との共同創造 ～メンタルヘルス不調を抱える母親を対象とした「ひろば」のエス ノグラフィー～		
審査年月日	2024 年 1 月 12 日		
論文審査及び 最終試験結果	<div>合格</div> ・ 不合格		
添付書類	1 博士論文審査及び最終試験の結果の要旨（様式第 12 号） 2 論文の要旨（様式第 8 号）		

博士論文審査及び最終試験の結果の要旨

氏 名	森本 淳子
論文題目	地域におけるグループを活用した支援方法と当事者との共同創造 ～メンタルヘルス不調を抱える母親を対象とした「ひろば」のエスノグラフィー～
論文審査員	主 査 新保 幸男 副 査 谷口 千絵 副 査 田中 和美
<p>【論文審査の結果の要旨】</p> <p>メンタルヘルス不調を抱える母親のためのグループに関して、先行研究の整理において実態と実践上の課題を明らかにしたうえで、それを検証する目的を持って、長期にわたりグループ実践を行い、メンタルヘルス不調を抱える母親が子育てをすることはどのようなことか、その母親の語りの特徴とグループとの関係はどのようなことか、地域で実践されるグループの母親と支援者の相互交流と創出はどのようなものであるかについて、明らかにした論文である。</p> <p>提出された論文について、審査員 3 名により 2024 年 1 月 12 日 10 時 40 分から論文審査を行った。最初の 30 分間で森本氏より研究内容及び予備審査での指摘事項への対応についての報告があり、その後、論文の内容について、特に、研究の目的、研究の方法、データの解析、研究結果、考察、保健福祉学への貢献の部分を中心として、主査・副査との間で質疑応答が行われた。森本氏は、質問に対して丁寧に回答し、その水準も高いと考えられた。このため、博士論文に該当する優れた論文であると主査・副査全員一致で判断した。</p> <p>【最終試験の結果の要旨】</p> <p>2024 年 1 月 12 日の論文審査の後の時間帯に、審査員 3 名により最終審査を行った。博士後期課程入学後の研究への取り組みの状況、最終審査を受けている現時点での感想、保健福祉学分野の研究者としての今後の展望などについて質疑応答を行った。</p> <p>その結果、博士後期課程において着実に先人や仲間たちとの学びを継続すると共に、大切なテーマについてしっかりと論文執筆に取り組んで出来たことがわかった。また、今回の研究で構築したグループを継続することなので、今後の研究発展も期待できると思われる。その結果、当該分野における幅広い知識を持ち、博士学位取得者にふさわしいと主査・副査全員一致で判断した。</p> <p>以上のことから、博士論文審査及び最終試験について、その基準を満たしていたので、主査・副査全員一致で合格と判断した。</p>	